レポート

ニュース解説

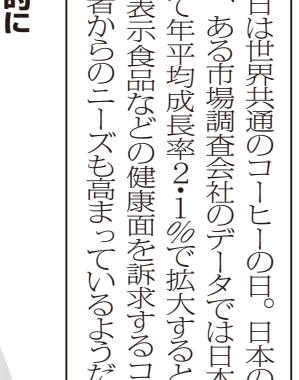
健康訴求のコーヒー、ニーズに高まり
機能性表示中心に市場活発化

10月1日は世界共通のコーヒーの日。日本のコーヒー消費量は世界4位と高く、ある市場調査会社のデータでは日本のコーヒー市場は26～35年にかけて年平均成長率2・1％で拡大すると予測されている。市場には機能性表示食品などの健康面を訴求するコーヒーも多く流通しており、消費者からのニーズも高まっているようだ。（編集部・本間）

調で過去3年間のペットボトル飲料新製品における初動売上ナンバーワンを記録した」（同社）という。先月はコーヒー由来クロロゲン酸類を関与とヘルスケアは「中期経営計画の目標100億円を1年前倒しで達成する見込み」だという。

ドン・キホーテ37店舗での販売拡大が決まった「YOUR COFFEE」（販売：ユアミール、東京都港区）はタンパク質や食物繊維などを手軽に摂取できる粉末タイプのコーヒー。昨年ショッピングモール・Qoo10の健康食品サプリ部門第1位を獲得、農林水産省後援の第10回介護食品・スマイルケア食コンクール金賞にも選ばれた。

「NMNコーヒー」（ネイチャーカン）、「スリミーコーヒー」（オージオ）、ポーションタイプコーヒーの機能性表示食品「スリーダウンコーヒーネオ」（メロディアン）など新商品も続く。



柏倉元太氏は健康訴求のコーヒーについて「コーヒーの新たな選択軸として関心が高まっている領域だと考えています。機能性を打ち出した商品展開が広がるなか、味や香りに加え、毎日の生活に合う付加価値を求める方にとって、選択肢が増えている点に注目しています。ただし、商品展開の広がりと市場全体の需要拡大は分けて捉える必要があると思います」と話す。

また、今後も広がる余地はあるとして「コーヒーは嗜好品ですので、継続して選ばれるためには健康面の訴求に加え、おいしさ、無理なく続けられる価格、飲み方の手軽さが大切だと思います。企業には、商品の科学的な根拠や対象となる方、飲用条件などを分かりやすく伝え、消費者が納得して選べる商品づくりを期待しています」と語った。

74％が習慣的にコーヒー摂取・調査

一般社団法人全日本コーヒー協会が公表した統計によると、2025年の日本のコーヒー消費量は39万7272トンで、米国、ブラジル、ドイツに次いで世界4位の消費量となっている。

国内の12～79才の4000人を対象とした「コーヒー需要動向調査」によると、74・3％の人がコーヒーを習慣的に飲んでいることも分かっており、調査会社・マーケットリサーチセンターのデータは、日本のコーヒー市場について、「2025年時点で34・7億米ドル規模に達し、2026年から2035年にかけて年平均成長率2・1％で拡大、2035年には42・7億米ドルに達する」と予測する。

UCCは健康分野で150億を目標に

クロロゲン酸やカフェイン、トリゴネリンなどコーヒーに含まれる成分が健康に寄与することは広く知られるようになったが、特に近年は健康訴求コーヒーへの注目が集まっている。全日本コーヒー協会では2025年の重大ニュースに『コーヒーと健康』への関心高まる。コーヒー由来の機能性成分やカフェインコントロール製品の増加」を挙げており、市場におけるメーカーらの取り組みも活発だ。

UCC上島珈琲（神戸市中央区）は「コーヒーをもっとおいしく、もっとヘルシーに。」をコンセプトとする機能性表示食品「UCC&ヘルシー」シリーズを展開。「2030年までに〝コーヒー×健康〟分野で、年間3億杯、売上150億円」を目標に取り組みを進めている。

コーヒー由来トリゴネリンを関与成分として「安静時のエネルギー」をヘルスクレームとする「UCC TOTONOU」は、3月の発売以降好調に推移しており「特にEC販路での販売が好



新日本製薬（福岡市中央区）では、ヘルスケアブランド「Fun and Health」の主力商品として抗肥満訴求の機能性表示食品「スリミーコーヒーネオ」を販売している。集中的な広告投資によって オフライン・ECともに新規顧客数が大幅に増加しており、卸売店舗数も1万2000店舗に拡大したことから同商品はヘルスケアの売上高増収に大きく貢献。発表による

「消費者が納得して選べる商品づくりを」専門家

JSFCAのコーヒーソムリエ資格を持ち、コーヒー専門家として数々のメディアに出演するコーヒー豆研究所の

北海道のサケから生まれた
プロテオグリカン
カラダの深層から
エイジングケア
日健栄協認定工場 GMP
原材料GMP 認定番号 27319
新規認証
製品GMP 認定番号 35126
機能性表示食品
SR提供可
SCPコンプレックス-LS　プロテオグリカン-LS　アテロ化マリンコラーゲン sdfp-LS
Ref.No.:K-0133
LINISE
株式会社リナイス
本社　〒001-0021　北海道札幌市北区北21条西11丁目
北海道大学 フード&メディカル・イノベーション国際拠点405
工場　〒049-3519　北海道山越郡長万部町旭浜159-9
HP　https://linise.co.jp/

Nakahara 機能性原料
を多数ご用意しております。
■NMN（ニコチンアミドモノヌクレオチド）国内製造品、OEM承ります
■乳酸菌TWK10「筋肉量」「除脂肪体重」で機能性表示に対応
■酵母プロテイン タンパク質90%以上の新グレードを上市
その他取扱い原料
黒茶エキス末　PQQ　酢酸菌抽出物　ナットウキナーゼ　ABケフィア乳酸菌　β-アラニン　グルコサミン塩酸塩
ライスプロテインパウダー　ヤシガラ活性炭　竹炭粉末　ドロープソードライ　銀杏葉エキス末
フィッシュコラーゲン　ヒアルロン酸　大麦若葉末　アキョウペプチド末　野草発酵エキス末121
ブドウ種子エキス末　豚軟骨抽出物　パンプキンシードプロテイン　メリロート　ケルセチン
ゴマエキス末（セサミン高含有）　クルクミン　山西老陳酢濃縮末　江蘇鎮江香酢濃縮末　アフロンアイ
HMBカルシウム　GABA　千里光　楽々健歩　喜寿気麗　玉泉六草末　クレアチン　DHA・EPA　等
健康食品原料の輸入・卸販売や、新素材・原料の研究開発、健康食品や関連グッズの企画・開発などを行なっています。お気軽にお問合せください。
株式会社 中原
〒336-0022　埼玉県さいたま市南区白幡3-12-16　中原ビル
TEL:048-710-8877 / FAX:048-710-8878
http://www.nakahara2001.co.jp